

大門だより

荒川区立大門小学校
校長 神田 やよい
令和8年 8月 31日



大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「“ともに学ぶ”から生まれる力を」

校長 神田 やよい

長い夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。いよいよ2学期のスタートです。

2学期は、日々の学習に加え、様々な行事や友達との活動を通して、子供たちが大きく成長する学期です。そんな2学期に大切にしたいことのひとつが、「自分の考えをもつこと」です。「私はこう思う」「こんなことをしてみたい」と自分なりに考え、その考えを言葉や文章、様々な表現を通して相手に伝える。自分の思いをもつとともに、「伝える術」も磨いてほしいと思います。

しかし、集団で学べば、自分の意見がいつも受け入れられるとは限りません。「自分はこうしたい。でも、友達は違う」。自分の意見が反映されなかったり、思い通りにならなかったりすることもあります。児童期は、自分の思いを大切にしながら、他者の立場や考えを理解し、折り合いをつける力を育てていく時期です。葛藤し、悩み、相手の話を聞き、ときには考えを変え、新しい方法と一緒にを見つける。その過程そのものが大切な学びです。

9月には、全学年の縦割り班「きょうだい班」で取り組む大門祭りがあります。異なる学年、異なる考えをもつ仲間と活動する中で、協働する難しさと楽しさ、そして一人ではできないことを、みんなで成し遂げる喜びを実感してほしいと思います。

6年生には連合運動会や移動教室など、小学校生活の大切な行事が待っています。1～5年生も、11月末の学習発表会に向け、学びを積み重ねていきます。

そしてもう一つ、子供たちには「少し先の明るい未来」を思い描く力を育ててほしいと思います。「こうなりたい」「こんなことができるようになりたい」と未来を描き、そのために今できることを考え、準備し、行動する。仲間と学び、ときには葛藤しながら、自分の未来へ一歩ずつ進んでいく。そんな2学期になることを願っています。